

みんなの大岩郵便局

大岩郵便局の今後を考える会

連絡先 茨木市平田台 5-6-401 山下けいき
電話 072-635-6680 ファクス 072-635-5184

2006年8月
第1号

郵政公社 伝統ある大岩局の集配業務を廃止

さる6月27日、郵政公社は1048の郵便局で集配業務を廃止すると発表しました。この中に1882年（明治15年）に誕生した大岩郵便局が含まれています。

昨年10月の特別国会で多くの反対や疑問の声を押し切り、郵政民営化が決定されました。この国会の中で、当時の竹中国務大臣は「そもそも郵



政の民営化は、全国津々浦々に置かれております郵便局が果たしているその機能を維持し、より便利なサービスが地域住民に提供されることを目的」と述べています。

また参議院でも「現行水準が維持され、万一にも国民の利便に支障が生じないよう万全を期すこと」の付帯決議が採択され政府に特段の配慮を求めています。

しかし、集配業務の廃止から始まる郵政民営化の動きは、このような答弁や付帯決議が無縁のものです。全国どこでも公平に提供されてきたサービスが利益優先に変わり、公共性があっても採算が取れないサービスや効率の悪い地方は切り捨てられることをはっきり物語っています。

郵便局再編によるサービス低下

集配業務がなくなると次のようなサービス低下が予想されます。

- ①郵便局での時間外窓口サービスが原則廃止される。
- ②従来に比べ配達距離が長くなり配達も遅れる。
- ③ATMの土・日の稼働がなくなり、将来的には保守点検にかなりの費用がかかることから撤去の可能性も出てくる。
- ④現在の総合担務（集配、貯金、保険）がなくなり住民利用者との交流も少なくなり、高齢者の話を聞き各種の相談相手になる時間もなくなる。

このため対象になった郵便局を利用している地域住民はもちろん、市町村からも反対の声が全国各地で上がっています。



大岩局管内（郵便番号 568 区域）で心配されること

大岩局の場合、すべての外務員が茨木局に異動され、次のような点が心配されます。

- ①大岩局が特定局になれば見山局と地域に特定局が2つとなり1局が廃止される可能性が高い
- ②現在のサービスを維持するには、限られた時間での配達となり、これまで以上にスピードを出して郵便車が走り、交通事故が多発する危険性が出てくる
- ③冬季の凍結、大雨など四季を通じて起きる丘陵地特有の天候による道路事情を想定していない。
- ④不在時の書留、小包などの再度の配達に時間がかかりすぎて届かない場合も出てくる。
- ⑤大岩局留（郵便物を局内に保管）が無くなり、茨木局まで取りに行かなくてはならない。



集約後の大岩局はこうなる

具体的な項目	現在の大岩局	集約後の大岩局
取扱い業務	郵便・簡保・貯金を外務員が総合的に行う	全て茨木局に。大岩局は窓口のみ。
配達の起点	大岩局から配達	通常・速達・小包は茨木局から
大岩局 15 のポストに投函された郵便物	大岩局が収集	茨木局から収集、利用が少なければ収集回数の減も
不在時の夜間再度配達	大岩局が実施	茨木局から配達するかは不明
不在時の郵便物	大岩局で保管	茨木局で保管
ゆうゆう窓口 8~18 時 (郵便時間外窓口)	実施中	廃止/できる限り茨木局から配達・集荷
A T M の取扱い	実施中	現状維持というが



市議会でも取上げられた大岩郵便局問題

この問題は元気市民の山下慶喜議員が 6 月市議会で取上げ、次のようなやり取りがありました。

質問 市は郵政公社から何らかの説明を受けているのか

答弁 日本郵政公社が計画している郵便局の再編計画で、市内の大岩郵便局を無集配局とする案があることを、この 4 月 25 日に近畿支社から、そして 6 月 6 日に、茨木郵便局から今後のスケジュールを聞いている。説明によると「今後の予定は、6 月下旬に新聞紙上で公表し、その後、地元への説明会を開催する。具体的なことは決定していないが、現行サービスは維持する方向で対策を考えている」とのことであった。

質問 住民へのサービス低下を招かないよう市も対応すべきではないか。

答弁 再編によって、従来大岩郵便局で実施している土、日の郵便受付が茨木郵便局で行うことになるが、その他、配送などについてもサービス低下にならないことを基本に、公社でも具体的な検討が進められており、その動向を見て行きたい。

大岩郵便局の今後を考える会のご案内

大岩局管内（郵便番号 568 区域）にお住まいの皆さん

今回の郵政民営化の中で、現在の郵政公社は一つの持ち株会社と四つの事業会社に分割されます。この過程で来る6月末に集配特定局（集配、貯金、保険の外務作業を行う局）の統合計画が発表され、全国 1048 局、大阪府内 3 局で集配業務を廃止する方向が打ち出されました。この中に大岩郵便局が含まれています。



市議会で明らかになったように、4 月は近畿支社、6 月初めには茨木郵便局から茨木市に説明がなされています。

郵便業務には通常郵便物を含め速達、書留、小包といった各種郵便物の配達があります。茨木局から大岩局管内の最長距離は 15 キロにも及び、それを一日何往復もするのは大変です。交通事故の多発を招き、またサービスの低下につながることは目に見えています。まさに「非効率」そのものです。

現に茨木局では、午後からの配達時間が夕方の 5 時、6 時になるなど「夕刊よりも遅い郵便配達」と苦情が寄せられています。更に交通事故も今年の 4 月から 7 月半ばにかけて 6 件も発生しており、異常な職場実態となっています。

今回の集配業務の統合はいままでさえゆとりのない職場にますます拍車をかけ地域へのサービス低下につながるの明らかです。

先人の知恵で明治の時代に生まれた大岩郵便局が、その機能を半減され、将来は A T M など機械だけの無人局にされ、それすらも危ぶまれるとなっては地方の切り捨てそのものです。ぜひ皆さんのご意見をお聞かせください。

ぜひいらしてください

大岩郵便局の今後を考える会

日時 8 月 13 日（日） 午後 1 時半から

場所 見山公民館

内容 大岩郵便局はどうか。地域の声、働く人の声